

第 2 1 回八代地域審議会発言要旨

委員	事務局
■議題（１）合併効果の検証について【資料１－１、１－２】	
他市での人口減少対策の成功事例は何かあるのか。	県内他市でも、移住希望者への情報発信、お試し移住体験などを実施されており、天草市では成果が上がっていると聞いている。来年度は八代市でも、定住施策について調査検討を行っていく。
人口を増やすためか、農地がマンション等に変わっている。裏を返せば農業が狭められていっているのではないか。人口増加も結構だが、農業振興についてはどう考えているのか。	市民アンケートでも、農林水産業の振興についての評価が低いという結果が出ているので、総合計画後期基本計画にしっかり位置付けていきたい。
議員の削減率が高く、報酬・人数ともに少なくなっている。職員数も目標値 1,180 人を達成しているということだが、コンピュータ社会における事務効率化の中で人員削減はどこまで考えているのか。10 年後の目標はどうか。	行財政改革大綱実施計画で、平成 22 年度までに 150 人削減、合併後 10 年までに延 250 人の削減を目標としている。 今後もコスト削減のため職員数は最小限に抑えていくが、後々の行政運営に支障をきたさないような職員採用を行っていく。
■報告事項（１）市民アンケートの結果について【資料２－１、２－２】（企画政策課）	
P 2、2) で「ずっと今いる地域で住みたい」という回答が多いが、学校に行くと学生たちも安定した生活環境を求めているようだ。今のハローワークの平均求人倍率は 0.34～0.35 程。企業を誘致し、安定して生活できる環境づくりができれば、若者も八代に安心して住めるし、税収も増えると思う。	貴重な提言として受け止める。
農業の担い手育成について、自分に子どもがいないので、やり手があれば全部あげます言ったこともある。跡取りを育てるだけでなく、このような考えで新規就農者を受け入れる地域の環境づくりが必要だと考えている。	

委員	事務局
■報告事項（3）平成24年度八代市主要事業について【資料4】	
<p>笑顔 de あいさつ日本一運動推進事業、予算550万とはどのような事業か。</p>	<p>これまで、市民サービス向上を目指し職員向けに行ってきたあいさつ日本一運動を、今後は全市的に広げていく。さわやかな挨拶が飛び交う八代市を目指し、市役所職員だけでなく、地域・学校・企業等にも呼び掛けてあいさつ運動を展開していく。</p> <p>予算の内容は、活動推進のための啓発ポスター、のぼり旗の作成、市民参加型のイベント実施の費用。</p>
<p>イベントとはどういうものか。</p>	<p>詳細はこれからだが、多くの市民に参加していただき、「あいさつ運動のまち八代」を発信できるような話題性のあるイベントを考えたい。</p>
<p>重点港湾について2月に蒲島知事に質問した際、熊本港にこれまで1千億円以上つぎ込んでいる。今までの投資を無駄にしたくない。熊本市を中心にやっていきたいと話をされていた。今後、熊本県との連携と同時に、球磨・人吉・芦北・天草といった県南市町村との連携も十分に行い、荷物が八代に集まるようにしていただきたい。</p> <p>また、この項目にはないが、八代天草架橋も大きな問題。年1回の大会も今後拡充していくべきだと思う。</p>	<p>貴重な提言として受け止める。</p>
<p>P4、「老朽危険空き家除去促進事業」とはどのような内容か。</p>	<p>新規事業で、国交省の事業を八代市でも実施するもの。老朽化の進んだ空き家を持ち主が解体する場合に一定の要件を満たせば予算の範囲内で除去費の一部を補助する事業。</p>